



潮岬の夕焼（和歌山県東牟婁郡串本町）

和歌山支部 岡野 良平

焦

点

民主党を中心とする政権が発足して3カ月が経過する。この間に政治は大幅に変化した。これを理解するための資料に、民主党マニフェストと民主政策集INDEX2009がある。INDEX2009には「税制改正過程の抜本改革」の項目があり、税制改正について「公平・透明・納得」という納税者の視点に立った原則の下で政治主導の政策決定を行うとともに、その過程を透明化すると記載されている。更に、具体的な手続きについても詳細に記載されているので、是非一読願いたい。我々の最大の関心事についても、大幅な変更がある。

また、財務大臣の下に置かれる、政治家をメンバーとする新しい政府税制調査会が税制

改正の作業と決定を行い、さらにその下に助言を行う専門家委員会を設置するとされている。専門家委員会への税理士登用を強く願うものである。

報道によると、我々税政連を始めとする業界団体からの陳情は、民主党の企業団体対策委員会を窓口、幹事長室に取り次ぐこととされている。それでも税制改正の要望は、税理士による後援会を通じて個々の国会議員に説明し、理解を得なければ実現できない。もっとも、税制改正に関しては陳情自体がなくなり、建議権等による提言活動に変化しつつある。どうもややこしい。一から情報をしっかり集めなければならない。

我々も、この変化を認識し、これに対応できるように自己改革をする必要がある。

主張

高所から眺めた論理に基づく提言を

第45回衆議院議員総選挙が施行され、ご承知の通り、民主党の圧勝に終わった。民主党への風が吹いていたとはいえ、これ程の結果になろうとは。国民の自民党への不満あるいは民主党への期待は計り知れないほど大きかったのだろう。近畿税政連は、税理士党の立場から、我々に理解のある国会議員を推薦し支援してきたが、残念ながら過半数の方々が落選の結果となった。

政権交代により、政治の仕組みが変わる。「国民の生活が第一。」という理念の下、官僚丸投げの政治から政治家主導の政治へと変わる、政府と与党を使い分ける二元体制から内閣の下の方策決定に一元化される。税制改正過程も抜本改正されるが、税政連にとってこの変革はチャンスとなる。なぜなら、公正な立場での要望が、税制改正に大幅に取り込まれる仕組みとなったからである。新たな政府税制調査会のヒアリング、各省庁におけるヒアリングがそれである。

税理士法第1条には「税理士は、税に関する専門家として、独立した公正な立場において……納税義務の適正な実現を図ることを使命とする」と定められており、税理士業務の公正性を規定している。また税理士法第49条の11には「税理士会は、税務行政その他租税又は税理士に関する制度について、権限のある官公署に建議し、またはその諮問に答申することが出来る」と定められており、税理士会に建議権を認めている。このことから、税理士会は公正な立場であり、その意見は公正であると見なされ、税制改正において取り込まれやすい状況になった。さらに幅広く国会議員等に説明し理解を得て、その実現を目指す必要もあるし、ますます税政連活動に楽しみを感じるようになる。現場を知っている専門家の要望の実現が必要なのである。

政治論を語るとき、“鳥観的に事実を見るべき”との意見と“虫観的に事実を見るべき”との意見の両論がある。鳥のように上空から世の中を眺めて政治をするか、虫のように地面に這いつくばって下から世の中を眺めて政治をするか、という意味である。いずれにせよケースバイケースで正論なのであるが、今の世を観る時は、高所から眺めた論理で対処すべきではないか。

税政連も、高所から眺めた論理に基づく提言の実現を目指し、その手法は柔軟でなければならない。

(Y.S)

目次

主張	2
支部連定期大会	3
平野官房長官、前原国土交通大臣を表敬訪問	4
後援会ニュース	5
近畿税理士政治連盟役員一覧	7
後援会の窓～ここに人あり～	9

連

載

焦点	1
かんさいすずめ	10

支部連定期大会

大阪府第2支部

大阪府第2支部連合会(北、大淀、旭、福島、東成、城東、西淀川、東淀川、門真、枚方)第14回定期大会が9月28日、ホテル京阪京橋において開催された。



上田実 新支部連会長

来賓として近畿税理士政治連盟井戸本泰次幹事長が出席した。

保泉幸雄支部連幹事長が開会を宣し、中山寿光支部連会長が「総選挙における役員会員各位の支援活動に厚く御礼申し上げる。残念な結果となったが、来年の参議院議員の選挙に向けて、支部連は本部、支部、後援会と緊密に連携して活動を進めたい。一層のご支援とご協力をお願いしたい」と挨拶。

続いて、議事に入り、すべての議案について原案通り承認可決された。上田実会員が新支部連会長に、旭輝明会員が新支部連幹事長に選任された。

次に来賓挨拶として井戸本近税政幹事長から会長メッセージが代読された。また、本部活動報告として「衆議院議員総選挙は残念な結果となったが、後援会については引き続き、積極的な活動をお願いします。本部としても最大限協力していく所存である。新たに後援会を結成する場合は、支援規定の順守をお願いします。公認会計士協会は、公認会計士の資格を持って税理士業務ができるとする意見表明をし、そして民主

党に議連を設立しその実現を目指している。誤った認識に基づくものであり断固阻止するため、国政の場において要望していく。そのためにも数で負けないようにする必要がある」と挨拶があった。

続いて上田新支部連会長が「政権交代が行われ、激動の時期になる。我々は特定の政党を支援するものではなく、申告納税制度と税理士制度の理解者を支持していくものであり、いわば税理士党である。推薦国会議員等が不在の空白の選挙区については、後援会の設立等進めていきたい。各位の一層のご協力をお願いする」と就任挨拶。

最後に小泉丹二支部連副会長の閉会挨拶で終了した。

続いて国政報告会が開催され、中山泰秀前衆議院議員、北川知克前衆議院議員、谷口隆義前衆議院議員がそれぞれ登壇した。平野博文官房長官は政務多忙のため秘書が代理出席し本人からのメッセージを述べた。この後、懇談会が開催され、前議員と会員が懇談し懇親を深めた。

兵庫県第1支部連

10月2日午後6時より、神戸市中央区のホテルモントレにて、兵庫県第1支部連合会(神戸、灘、芦屋、兵庫、長田、須磨)第28回定期大会が開催された。



池田進 支部連幹事長

来賓として、徳富勲近税政副会長が出席した。

池田進幹事長による開会宣言のあと、議長に
杣田裕顯会員が選出され、議事に入った。池田幹
事長より平成20年度運動経過報告がなされ、国
會議員に対する支援活動、会員に対する税政連
活動に関する理解と協力の呼びかけ、会費収納
率の向上策への取り組みについて報告があり、
第1号議案から第4号議案まで、全て原案通り
承認可決された。そして第5号議案では、任期満
了に伴う役員改選により新役員が選任され、竹
中征二郎兵庫県第1支部連新会長が就任した。

議事後、徳富近税政副会長より、運営への
協力に対する感謝の意、國會議員に対する支援、
新政権下での取り組みについての報告、税理士
による後援会の設立に向けての積極的な取り組
み、税政連活動についての会員の理解を得るよ
うに努めること、そして低迷している会費収納
率の向上へ繋げるように、との挨拶があり、定
期大会は終了した。

その後、懇親会が開催され、盛会のうちに閉
会した。
(吉田智代)

平野博文官房長官・前原誠司国土交通大臣を表敬訪問

第45回衆議院議員総選挙の結果を受け、9月
16日の特別国会での首班指名を経て鳩山内閣が
発足した。当連盟推薦國會議員の中から、平野
博文衆議院議員が官房長官、前原誠司衆議院議
員が国土交通大臣として入閣した。

去る10月2日、首相官邸にて平野内閣官房長
官への表敬訪問を行った。宮口定雄近税政名誉
会長、南出力利近税政会長、井戸本泰次近税政
幹事長及び石原紀一税理士による平野博文後援
会会長の4名の参加者での面談であった。

大臣就任のお祝いの言葉を南出会長が述べた
後、宮口名誉会長より、行政刷新会議における
税理士制度の審議に税理士のことを十分に理解
された方の登用方を要望した。数日後、山川巽
日税政会長に対し、行政刷新会議事務局に税理
士会推薦の税理士を事務局スタッフとして採用

したい旨の連絡があり、日税連において東京税
理士会の会員を早速推薦し、その登用が確定し
た。また、税制調査会の下部組織である専門家
委員会への税理士の登用についても要望し、財
務大臣への推薦を確約いただいた。民主党政権
下での素早い対応に、参加者全員が感銘を受け
る訪問となった。

また10月21日、南出会長、井戸本幹事長、村
中平治税理士による前原誠司後援会会長が、国
土交通省に前原大臣を表敬訪問した。当連盟か
らは、大臣就任の祝意を述べ、今後とも変わら
ぬご指導とご協力をお願いした。前原大臣から
は、選挙支援のお礼と、大臣としての日常など
近況報告をいただいた。前原大臣の尚一層のご
活躍を祈念するものである。

(幹事長井戸本泰次)



左から石原後援会会長、宮口名誉会長、
平野官房長官、南出会長、井戸本幹事長



前原国土交通大臣(前)と後方左から井戸
本幹事長、南出会長、村中後援会会長

後援会ニュース

山口つよし後援会設立総会

税理士による山口つよし後援会の設立総会が、10月24日、龍野経済交流センターにおいて開催された。



山口壮 衆議院議員(左)と矢野和英会長

来賓として、南出力利近税政会長、田達満近税政副幹事長、藤岡保兵庫県第4支部連会長、廣島圭吾近税会相生支部長、前田俊明税理士による松本たけあき後援会会長の出席があった。

三木政司会員の司会により開会が宣言され、山口つよし衆議院議員の紹介の後、発起人代表の矢野和英会員により設立趣意書の朗読と説明がなされた。

続いて、議事の審議に当たり、議長の選出に司会者一任の声が議場から上がり、久野喜作会員が推選され、議事録署名人選出の後、議事に入った。

第1号議案(後援会規約承認の件)について、大谷充廣会員から規約(案)の説明及び朗読があり、第2号議案(人事承認の件)、第3号議案(事業計画・予算承認の件)のいずれも審議を諮った結果、賛成多数で可決承認された。

議事終了の後、矢野和英後援会会長の挨拶があった。

続いて、山口つよし衆議院議員から「先の総選挙でついに政権交代が実現し、新しい日本をつくることができました。今、私は国家戦略局で、新しい国づくりの根幹に携わらせていただい

ているという気概をもって、次世代のための成長戦略に知恵を絞っています」との挨拶があった。

引き続き、来賓祝辞として南出近税政会長、藤岡支部連会長、前田松本たけあき後援会会長から挨拶があり、祝電披露の後、水野純夫後援会副会長から閉会の挨拶をもって終了した。

(一井正彦)

関よしひろ後援会定期大会

10月14日午後5時30分より、神戸市須磨区の魚チにて、税理士による関よしひろ後援会第1回定期大会が開催された。

来賓として、関よしひろ前衆議院議員、徳富勲近税政副会長、池田進近税政兵庫県第1支部連幹事長が出席した。

中野裕之副幹事長の司会による開会宣言の後、忝田裕顯会長より「今回の選挙においては残念な結果となったが、関先生には、次回の選挙に向けて、地道な運動をして、なおいっそう頑張っていただきたい。我々も引き続き応援していく」と挨拶があった。

議長に植松伸一副会長が選出され、議事に入った。第1号議案から第3号議案まで、全て原案通り承認可決された。



関よしひろ 前衆議院議員(前列左から3人目)

次に、来賓の徳富近税政副会長より「我々は、いわゆる税理士党として、税政連活動を理解してくださる先生方を推薦していく。設立間もない後援会だが、次回の選挙に向けて、元気に頑張

って活動していただきたい」との挨拶があった。

そして、関前衆議院議員から「今回の選挙での皆様の温かい支援に心から感謝する。今求められるのは、自民党の党内改革である。目標を持って、次回の選挙の際は、皆様の力を借りて頑張りたい」との決意表明があった。

最後に田中啓副会長による閉会の辞の後、定期大会は終了した。

引き続き、池田近税政兵庫第1支部連幹事長の挨拶により、懇親会が開会し、盛会のうちに終了した。(吉田智代)

中山泰秀後援会定期大会

「税理士とその関与先による中山泰秀後援会」第5回定期大会が、10月30日午後5時より帝国ホテル大阪において開催された。



中山泰秀 前衆議院議員

来賓として中山泰秀前衆議院議員、近畿税理士政治連盟から南出力利会長、井戸本泰次幹事長、近畿税理士政治連盟大阪府第2支部連合会から上田実会長が出席した。

松本圭一総務委員長の司会により開会し、新田博之後援会会長から、先の第45回衆議院議員総選挙における電話戦術当番・推薦はがきの作成等に対する謝辞、並びに日頃の後援会活動への感謝と今後の更なるご協力をお願いの挨拶があった。

次いで総会に入り、新田後援会会長が議長に選任され、第1号議案：平成20年度事業報告及び収支決算報告・財産目録承認の件が上程された。監事を代表して加賀元久会計監事が監査報

告を行った後、採決され満場一致で承認可決された。続いて第2号議案：平成21年度事業計画案及び収支予算案承認の件が上程され、同じく満場一致で承認可決された。

その後、来賓を代表して南出近税政会長から、総会の無事終了への祝辞と、衆議院議員総選挙結果についての感想、今後の近畿税理士政治連盟の活動の方向性、さらには中山前衆議院議員に対しての期待と激励の挨拶があった。

最後に、原田徹常任副会長より閉会の挨拶があり、定期大会は無事終了した。

引き続き、山田忠良常任副会長の司会により、第2部の中山前衆議院議員による時局講演会が始まり、冒頭、先の衆議院議員総選挙における後援会活動に対する謝辞と次の衆議院議員選挙での捲土重来の決意表明があり、その後、最近の政治情勢・自由民主党の現状及び進むべき道などについて、1時間あまりにわたり講演があった。

講演会終了後、来賓の上田近税政大阪府第2支部連会長による乾杯の後、懇親会が開かれ、中山前衆議院議員と中山正暉元衆議院議員と親しく歓談し、盛会裏に終了した。(川崎哲之)

会員研修会の開催

日時：平成22年1月14日(木)

13時30分～16時35分

会場：国民会館12階・大ホール

第1部「我が国税制の将来と税理士の役割」

講師 財務副大臣 峰崎直樹 先生

(政府税制調査会企画委員会主査、

民主党税制調査会会長代行)

第2部「平成22年度税制改正について」

講師 近畿税理士会調査研究部長

永橋利志 氏(税理士)

受講料：2,000円

同封のご案内でお申し込みください。

近畿税理士政治連盟役員 一覧

本部役員

役 職	氏 名		
名 誉 会 長	宮口定雄（大淀）		
顧 問	池田隼啓（生野）		
相 談 役	弓岡隆巳（東）	北野博也（東大阪）	戸次威左武（今津）
	藤岡 実（西）	大和 司（住吉）	大西 晃（奈良）
	宮田義見（茨木）	岡田泰介（和歌山）	杉上七三夫（大淀）
	辻 孝次（豊能）		
会 長	南出力利（上京）		
副 会 長	佐野吉延（西）	徳富 勲（明石）	細谷陸雄（堺）
	今中英雄（茨木）	大村惠美子（奈良）	柏木勝志（芦屋）
	平安弋作（豊能）	赤堀精一（東淀川）	大高友紀（宇治）
	久保直己（大津）		
総 務 会 長	原 綱宗（下京）		
総務副会長	奥田文彦（尼崎） 速水愼一郎（和歌山）		
総 務	浅田恒博（天王寺）	杉田宗久（西）	西田隆郎（大淀）
	田中勇治（明石）	北村善和（下京）	永橋利志（岸和田）
	平山直樹（吹田）	石原健次（天王寺）	松本圭一（北）
	上原昭二（奈良）	蘆原賢一（岸和田）	池田茂雄（堺）
	井筒 潮（東大阪）	新田博之（旭）	村中平治（左京）
	前田俊明（姫路）	河合正美（明石）	鮎川純利（東住吉）
	平松正幸（枚方）	河南政明（西）	上田 実（旭）
	上西通氏（吹田）	雪松 弘（東大阪）	呑海英治（泉佐野）
	関本孝一（園部）	竹中征二郎（神戸）	南谷愼一（明石）
	浦濱 勇（西宮）	藤岡 保（姫路）	東口哲夫（奈良）
	後安宏彦（和歌山）	鈴木康夫（大津）	
幹 事 長	井戸本泰次（天王寺）		
副 幹 事 長	田 達満（住吉）	橋本光世（枚方）	九鬼郁雄（右京）
	桑野秀朗（東住吉）	石原 牧（右京）	後安宏彦（和歌山）
	河田秀雄（城東）		
幹 事	岡 訓範（港）	原田 徹（東成）	小寺隆弘（城東）
	室谷澄男（上京）	光永きみ子（芦屋）	吉田廣彰（葛城）
	野坂喜則（彦根）	河嶋 達（東）	脇阪説男（天王寺）
	大森布美子（枚方）	小倉文彦（西成）	前川武政（大淀）
	岩田守生（奈良）	天野香鶴子（旭）	中尾一仁（城東）
	竹下 寛（枚方）	三浦八重子（明石）	田中圭子（住吉）
	村木眞志（豊能）	吉田和之（右京）	後藤加代子（姫路）
	黒田有紀（奈良）	竹内芳彦（堺）	福長俊之（東淀川）
	中江嘉和（右京）	細川雅敏（西）	旭 輝明（旭）
	九鬼章泰（吹田）	弓手宏亮（東大阪）	田中 洋（泉佐野）
	芦田勝博（中京）	池田 進（灘）	北村光子（明石）
	越智 彰（西宮）	石田陽崇（姫路）	中 嘉 大（奈良）
	刀祢真大（和歌山）	堀井孝一郎（草津）	
会 計 監 事	木下雅裕（南）	寺坂雄次（和歌山）	澤田千博（姫路）

本部推薦審査会構成員

役 職	氏 名	
会 長	南出力利（上京）	
委 員	佐野吉延（西）	徳富 勲（明石）
	細谷陸雄（堺）	大村惠美子（奈良）
	今中英雄（茨木）	柏木勝志（芦屋）
	平安弋作（豊能）	赤堀精一（東淀川）
	大高友紀（宇治）	久保直己（大津）
	原 綱宗（下京）	奥田文彦（尼崎）
	速水愼一郎（和歌山）	井戸本泰次（天王寺）
	田 達満（住吉）	橋本光世（枚方）
	九鬼郁雄（右京）	桑野秀朗（東住吉）
	石原 牧（右京）	河田秀雄（城東）
	河南政明（西）	上田 実（旭）
	上西通氏（吹田）	雪松 弘（東大阪）
	呑海英治（泉佐野）	関本孝一（園部）
	竹中征二郎（神戸）	南谷愼一（明石）
	浦濱 勇（西宮）	藤岡 保（姫路）
	東口哲夫（奈良）	後安宏彦（和歌山）
	鈴木康夫（大津）	

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第 1	河南政明（西）	細川雅敏（西）
大阪府第 2	上田 実（旭）	旭 輝明（旭）
大阪府第 3	上西通氏（吹田）	九鬼章泰（吹田）
大阪府第 4	雪松 弘（東大阪）	弓手宏亮（東大阪）
大阪府第 5	呑海英治（泉佐野）	田中 洋（泉佐野）
京都府	関本孝一（園部）	芦田勝博（中京）
兵庫県第 1	竹中征二郎（神戸）	池田 進（灘）
兵庫県第 2	南谷愼一（明石）	北村光子（明石）
兵庫県第 3	浦濱 勇（西宮）	越智 彰（西宮）
兵庫県第 4	藤岡 保（姫路）	石田陽崇（姫路）
奈良県	東口哲夫（奈良）	中 嘉 大（奈良）
和歌山県	後安宏彦（和歌山）	刀祢真大（和歌山）
滋賀県	鈴木康夫（大津）	堀井孝一郎（草津）

大阪府連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	佐野吉延（西）	幹事長	細川雅敏（西）
副会長	河南政明（西）	構成員	旭 輝明（旭）
	上田 実（旭）		九鬼章泰（吹田）
	上西通氏（吹田）		弓手宏亮（東大阪）
	雪松 弘（東大阪）		田中 洋（泉佐野）
	呑海英治（泉佐野）		

兵庫県連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	徳富 勲（明石）	幹事長	池田 進（灘）
副会長	竹中征二郎（神戸）	構成員	北村光子（明石）
	南谷愼一（明石）		越智 彰（西宮）
	浦濱 勇（西宮）		石田陽崇（姫路）
	藤岡 保（姫路）		

本部 7 委員会構成員

	政策委員会	財務委員会	組織委員会	国対委員会	選対委員会	広報委員会	後援会対策委員会
担当副会長	佐野 吉延 (西)	大高 友紀 (宇治)	細谷 陸雄 (堺)	久保 直己 (大津)	今中 英雄 (茨木)	大村恵美子 (奈良)	徳富 勲 (明石)
委員長	田 達満 (住吉)	橋本 光世 (枚方)	九鬼 郁雄 (右京)	桑野 秀朗 (東住吉)	石原 牧 (右京)	後安 宏彦 (和歌山)	河田 秀雄 (城東)
副委員長	岡 訓範 (港)	室谷 澄男 (上京)	河嶋 達 (東)	小倉 文彦 (西成)	天野香鶴子 (旭)	田中 圭子 (住吉)	福長 俊之 (東淀川)
	原田 徹 (東成)	光永きみ子 (芦屋)	脇阪 説男 (天王寺)	前川 武政 (大淀)	中尾 一仁 (城東)	村木 眞志 (豊能)	竹内 芳彦 (堺)
	小寺 隆弘 (城東)	吉田 廣彰 (葛城)	大森布実子 (枚方)	岩田 守生 (奈良)	竹下 寛 (枚方)	吉田 和之 (右京)	中江 嘉和 (右京)
		野坂 喜則 (彦根)			三浦八重子 (明石)	後藤加代子 (姫路)	
						黒田 有紀 (奈良)	
委員							
大阪府第 1	若林日出紀 (南)	細野 俊明 (天王寺)	細川 雅敏 (西)	辻子 隆裕 (港)	山川 典男 (阿倍野)	小川由美子 (生野)	徳善 英司 (住吉)
大阪府第 2	菅原 正治 (門真)	長江 高志 (枚方)	根来 直代 (北)	西本 現人 (東成)	森下 政彦 (東淀川)	川崎 哲之 (旭)	池辺 健 (大淀)
大阪府第 3	大西 尚史 (豊能)	服部 好伸 (茨木)	皆元 利一 (茨木)	守部 浩二 (豊能)	仲 猛夫 (茨木)	井関 孝之 (豊能)	玉井 敬浩 (吹田)
						和田 秀幸 (豊能)	
						石井 碧八 (吹田)	
大阪府第 4	大久保公裕 (八尾)	高岡 稔 (東大阪)	丹野 壮治 (富田林)	森 慶太郎 (八尾)	北野 益士 (富田林)	政本 彰人 (東大阪)	植田 潔 (東大阪)
大阪府第 5	谷口昇一郎 (泉佐野)	和中 信隆 (泉佐野)	西尾 礼二 (堺)	延時 隆 (泉大津)	吉田 英明 (岸和田)	静 幸太郎 (岸和田)	本田 浩基 (堺)
京 都 府	松本 安弘 (上京)	谷口 康夫 (右京)	田畑 臣雄 (左京)	澤田 眞司 (東山)	萩原 政宏 (伏見)	笹井 雅広 (下京)	山内 利明 (宇治)
						矢田 善久 (上京)	
						榎 和哉 (下京)	
兵庫県第 1	寺内 設昭 (芦屋)	渡辺 寛登 (神戸)	大原 利弘 (神戸)	佐藤 信夫 (長田)	竹内 好次 (須磨)	吉田 智代 (芦屋)	馬田 宣昭 (兵庫)
兵庫県第 2	松田 千尋 (明石)	藤本 秀樹 (三木)	桑村 浩司 (西脇)	吉田 稔 (社)	田 剛 (洲本)	星川 啓明 (明石)	三村 浩之 (加古川)
兵庫県第 3	松下 好式 (西宮)	阪上 恭一 (西宮)	池口 達生 (豊岡)	竹内 綱敏 (尼崎)	吉岡喜八朗 (伊丹)	森本 幸子 (西宮)	山陰 雅史 (尼崎)
兵庫県第 4	北岡 昭 (姫路)	岡本 直樹 (姫路)	黒田 謙 (姫路)	花房 賢司 (相生)	久野 喜作 (竜野)	一井 正彦 (姫路)	小谷 満 (姫路)
奈 良 県	西垣 潔 (奈良)	青木 幸子 (奈良)	西辻 勝利 (奈良)	出川 洋 (葛城)	杉垣 輝樹 (葛城)		谷口 好克 (桜井)
和 歌 山 県	森村 透 (粉河)	大西 啓介 (和歌山)	鶴島 幸夫 (和歌山)	青木 俊典 (和歌山)	辻 和宏 (和歌山)		堀 博充 (和歌山)
滋 賀 県	山本 善通 (水口)	永井 茂雄 (長浜)	田中 敏隆 (大津)	長澤 潔 (近江八幡)	小澤 康宏 (草津)	豊谷 晴男 (大津)	織戸 英信 (大津)

支部長・支部幹事長

	支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長
大阪府第 1	東	掛 善秀	岡野誠一	大阪府第 4	東大阪	石津良行	弓手宏亮	兵庫県第 1	神戸	安原武志	北村博昭
	南	久田輝雄	若林日出紀		富田林	森本博義	北井末廣		灘	中村 實	赤井義宏
	西	河南政明	細川雅敏		八尾	竹綱敏真	大久保公裕		芦屋	光永きみ子	蟬川寛嗣
	港	岡 訓範	辻子隆裕	大阪府第 5	堺	竹内芳彦	森 敏則		兵庫	室之園康雄	小林 明
	天王寺	衣川正一	細野俊明		泉大津	阪 広久	原 正人		長田	光齋信治	高井秀樹
	浪速	檜垣典仁	紀村一太		岸和田	木戸伸男	吉田英明	兵庫県第 2	須磨	吉川嘉彦	長田義博
	生野	赤尾滋樹	池崎琢磨		泉佐野	明松 優	田中 洋		明石	河合正美	市原幸恵
	阿倍野	佐藤幸太郎	山川典男	京都府	上京	西村公克	松本安弘		三木	照屋さつ子	二杉智幸
	東住吉	笹野博文	牧田利徳		中京	中野顯一	石塚 実		西脇	高見昌克	竹本博文
	住吉	田 達満	徳善英司		下京	志田育夫	敷 壽人		社	森 信博	下山博司
	西成	藤本正人	小倉文彦		左京	二股 茂	田畑臣雄		洲本	田 剛	森本雅之
大阪府第 2	北	山村典之	根来直代		東山	高橋 健	澤田眞司		加古川	泉 正紀	有村昌紀
	大淀	今中徳治	木下泰三		伏見	堀口裕弘	萩原政宏	兵庫県第 3	柏原	小山和男	足立 均
	旭	上田 実	旭 輝明		右京	谷 明憲	谷口康夫		豊岡	竹田 修	三木泰典
	福島	小泉丹二	深山 茂		園部	関本孝一	八釣重雄		和田山	人見孝文	石井 新
	東成	小市哲男	原田 徹		福知山	中井正紀	船越成人		伊丹	芝田一夫	吉岡喜八朗
	城東	河田秀雄	中尾一仁		舞鶴	藤村良幸	片又 昇	兵庫県第 4	西宮	浦濱 勇	越智 彰
	西淀川	青木義弘	仲田むつみ		宮津	川瀬 明	高岡政義		尼崎	西浦文彦	竹尾公明
	東淀川	平野隆照	森下政彦		峰山	藤原邦夫	廣谷倫成		姫路	藤岡 保	石田陽崇
	枚方	中川良比古	竹下 寛		宇治	田村繁和	山内利明		竜野	三木政司	久野喜作
	門真	久保田金次郎	菅原正治						相生	廣島圭吾	横山純一
大阪府第 3	吹田	上西通氏	平井義太郎								
	豊能	小島 隆	和田秀幸								
	茨木	小椋榮和	仲 猛夫								
奈良県				和歌山県				滋賀県			
	奈良	東口哲夫	中嶋 大								
	桜井	西崎俊文	谷口好克								
	葛城	山本眞市	杉垣輝樹								
	吉野	里田 好	澤井修三								
和歌山県				滋賀県				滋賀県			
	和歌山	内原 健	齋藤恒明								
	海南	宮尾文也	岸 友子								
	粉河	森村 透	奥田喜内								
	湯浅	沼田信也	宮井健年								
滋賀県				滋賀県				滋賀県			
	御坊	田淵 稔	川口時夫								
	田辺	山西輝明	光吉直也								
	新宮	宮崎安弘	中井邦次								
	大津	横井昭次	畠山譲治								
滋賀県				滋賀県				滋賀県			
	今津	辻 剛	地村秀磨								
	彦根	辻 哲雄	本庄秀樹								
	長浜	永井茂雄	藤居一彦								
	草津	南井 哲	竹中 弘								
滋賀県				滋賀県				滋賀県			
	近江八幡	長澤 潔	堀 真澄								
	水口	山本善通	永野隆幸								

ここに人あり

後援会の窓

中野寛成後援会 (衆議院議員・大阪8区・民主党)

中野寛成議員は、前回の郵政選挙で惜敗し、4年間の浪人生活を余儀なくされた。税理士界にとってはどうしても必要不可欠な人材であり、永田町が似合う先生を何としても国会に復帰させたいとの思いでいっぱいであった。捲土重来を期して臨んだ今回の総選挙で見事復活したことは、誠に喜ばしく思う。今後は税理士会と国民納税者のために活躍してもらいたい。



村木眞志会長

1. 後援会の歴史

後援会の歴史は古く、その設立は昭和54年に遡る。近税政後援会支援規程に基づき、「後援会の会員50名以上でしかも後援会の会費徴収をしなければならない」要件をいち早くクリアすべく、平成18年に上野淑治会長から村木眞志会長にバトンタッチ。新体制に組織変更し、現在に至っている。

2. 後援会の活動

【現状】後援会の総会は年に1回、定期的開催。役員会は年に数回、不定期で行っている。中野議員主催のセミナーや家族会には積極的に参加して親交を深めている。「所得税確定申告期における税務相談会場」には毎年必ず視察していただき、申告納税制度において税理士が果たしている役割を理解してもらっている。視察後、税制改正に対する陳情や意見交換を行っている。

【今後】中野議員が民主党税理士制度推進議員連盟会長に選任されたことは、後援会にとっても大変名誉なことである。あらゆる機会を通じて国政報告会や勉強会を開催し、陳情活動を続けていきたい。

【目標】組織の拡大を目指す

後援会の会員は、現在は選挙区の税理士を中心に構成されているが、これからは選挙区に拘わらず、幅広く会員を募りたい。同時に、税理士は固有の顧問先をもっているのので、賛助会員などの形で後援会に入会してもらえるように努力していきたい。



秋の園遊会において鳩山総理夫妻と

中野寛成衆議院議員 略歴

昭和15年11月26日長崎市生まれ
昭和38年 関西大学法学部卒業
税理士事務所勤務
昭和41年 豊中市議会議員当選(3期)
昭和51年 第43回衆議院議員総選挙で初当選(以後10期連続当選)
平成6年 新進党を結成。政策審議会会長、国会対策委員長を歴任
平成10年 新党友愛を結成。党代表
平成10年 民主党を結成。代表代行、政策審議会会長を歴任
平成11年 民主党副代表
平成14年 民主党幹事長
平成15年 第62代衆議院副議長、民主党憲法調査会長、教育基本問題調査会長
平成21年 第45回衆議院議員総選挙で当選

新型インフルエンザが猛威をふるっている

新型インフルエンザが猛威を振るっている。毎日、新型インフルエンザ関連のニュースを耳にするが、なんとなく遠いところの話のように思っていた。子供を預けている保育園でも10月の下旬ごろから感染者数の情報を張り出していたが、急激に増えているわけでもなく、あまり危機感がなかった。世間では学級閉鎖だなんだと騒いでいるのに、とりあえず基本の「手洗い」と「うがい」くらいで済ませていた。

それが突然、我が家にも新型インフルエンザがやって来た。夜中に一緒に寝ていた娘に触ると、なんとなく体が熱く感じる。体温計で測ってみると38度6分。体を冷やして様子を見ることにした。翌朝、当の本人は元気そうだが、やはり熱がある。祭日なので掛かり付けの病院もお休み。熱が上がるようであれば救急病院へ走らなければ、と思っていた矢先、少し様子がおかしいので熱を測ると39度6分。そのあと突然、けいれんを起こしたので、びっくりして救急車を呼んだ。救急車なんて滅多に呼ばないので、とっさに「110番」へ連絡してしまい「お母さん、119番へ連絡できませんか？ こちらは警察です」と落ち着いた口調で言われ、慌てていた気持ちがずっと引いた。3件目の救急要請で旭区の中野こども病院へ運ばれたが、たくさん子どもたちが待合室や廊下で点滴を打ちながら横たわっていた。娘も点滴を打ちながら検査結果を待つ。やはりA+の判定がでた。2週間前に季節性インフルエンザの予防接種をしたのにとしたら、先生に「今は、新型インフルエンザしか流行していません」と言われた。確か、子どもたちへのワクチン接種は12月ごろから始まるはず。「これじゃ、ワクチン接種する頃には、みんな感染したあとじゃないの」と思った。幸いにも処方されたタミフルが効いて、それ以上大事に至らなかった。

先日、厚生労働省が各都道府県に小児への接種開始を半月から1カ月前倒しするなどの要請を出した。要請は正しいと思うが、現場は困惑している様子。爆発的に各国で流行したのが、今年の5月ごろ。ワクチン準備期間に半年というのが、長いのか短いのかよく分からないが、小さな体で高熱と戦っている我が子を見ると、もう少し早くワクチンの接種ができなかったものかと思ってしまう。これから、季節性のインフルエンザも流行する時期。「手洗い」「うがい」「マスク」を忘れないように心がけたい。



近税政本部のうごき

○平成21年度・第2回正副幹事長会(10月13日)

- ・本部7委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- ・委員会担当副会長の委嘱について
- ・推薦審査委員の委嘱について
- ・大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- ・名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- ・その他

○平成21年度・第2回幹事会(10月13日)

- ・本部7委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- ・委員会担当副会長の委嘱について
- ・推薦審査委員の委嘱について
- ・大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- ・名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- ・その他

○平成21年度・第2回総務会(10月13日)

- ・本部7委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- ・委員会担当副会長の委嘱について
- ・推薦審査委員の委嘱について
- ・大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- ・名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- ・その他

○民主党大阪府連政策・制度意見交換会(10月18日)

○平成21年度・第3回広報委員会(11月13日)

- ・「近畿税政連のしおり」の改訂について
- ・近畿税政連ホームページの運営について
- ・平成21年度運動方針、委員会活動方針について
- ・機関紙「近畿税政連」の編集方針について
- ・機関紙第173号(10月号)の批評
- ・機関紙第174号(12月号)の編集に関する件
- ・機関紙第175号の編集企画に関する件
- ・その他

銀河系

2009年も間もなく終わる。今年ほど内外ともに色々なことが起こった年はなかったのではないだろうか。と思いながら、果たして来年の今頃、今年のことをどれだけ覚えているであろうか。

広報誌は、情報をすばやく的確に伝えることを使命とするが、一方で、記録や記憶に残るものでもありたいと考える。

広報委員会も村木委員長から後安新委員長へと交代した。新しいことに取り組み、会員先生に多くの近税政活動を伝え、理解を深めていただけるよう、頑張って委員会活動を行っていききたい。

(吉田和之)